

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立西郷小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 441-1103
愛知県豊橋市石巻萩平町字城脇164-2

E-mail saigou-e.toyohashi.ed.jp
Website http://www.saigou-e.toyohashi.ed.jp/

幼児児童生徒数 男子 55名 女子 56名 合計 111名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳 ~ 12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「共に生きる」を活動テーマとして、ESDを「人」「もの」「こと」との「関わり」「つながり」を尊重する子どもを育むことと捉えた。ESDの実践を通して、「人」「もの」「こと」と自分とのつながりを感じ、すすんでかかわる態度の育成を目標とした。

具体的には、環境の尊重、人間の尊重を柱に、①~③自然環境にかかわる活動、②国際理解にかかわる学習を行った。

① 自然環境にかかわる活動 I 【ホタル観察会】

校区を流れる安川にはホタルが生息している。毎年、児童と保護者を対象に「ホタル観察会」を行っている。豊橋市自然史博物館の学芸員さんを講師に招き、ホタルやその餌であるカワニナの生態や種類についての話を聞いた。その後、実際に安川沿いを歩き、乱舞するホタルを観察した。本物にふれる感動的な体験をすることで、いつまでもホタルの棲むきれいな西郷校区であってほしいと願う思い、守っていこうとする意識をもつことができた。

② 自然にかかわる活動Ⅱ【次郎柿栽培】

校区には、次郎柿の生産量日本一を誇る柿畑が広がっており、校区の自慢である。学校でも柿農家の方から木を借りて、JAの青年部の方の指導を受けながら児童が摘果、摘果、収穫などの作業を行っている。特に3年生では、総合的な学習で取り組み、柿農家の方に疑問や柿栽培への思いを聞く活動をしたり、柿料理にチャレンジしたりした。この主体的な学びが、一層次郎柿への関心を高め、こらからの次郎柿栽培についても考えることにつながった。

③ 自然にかかわる活動Ⅲ【吉祥山登山】

校区にある吉祥山（標高382m）登山に、毎年4年生が挑戦している。吉祥山は、古くから地元の人々の生活に利用され親しまれてきた山で、豊かな自然が残されている。環境保全隊の方に吉祥山の自然について教えていただきながら登り、山頂で三河湾や奥三河の山々を眺めながらお弁当を食べて下山した。ふるさとの自然に囲まれて一日を過ごし、そのよさを体感することで、自然のすばらしさや守っていくことの大切さを学んだ。

④ 国際理解にかかわる学習【コネタ集会】

本校には、1927年に日米友好の親善大使として送られた青い目の人形「コネタ」が現存する。全校児童参加の「コネタ集会」で、6年生が調べた「コネタ」の歴史についての発表を聞き、その意義や平和、友情の大切さを考えた。また、ALTの祖国フィリピンの食べ物や習慣などについての話を聞いた。地球上には多様な文化や生活が存在し、それらが自分たちと異なることを理解し、尊重することが平和な社会をつくることを学んだ。



① 自然にかかわる活動Ⅰ ホタル観察会



② 自然にかかわる活動Ⅱ 次郎柿栽培



③ 自然にかかわる活動Ⅲ 吉祥山登山



④ 国際理解にかかわる学習 コネタ集会

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 学校行事)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

自然にかかわる活動として行っている次郎柿栽培は、全校としても行っているが、特に3年生では総合的な学習で単元を構想している。「西郷の宝・次郎柿」の魅力を調べることを通して、いろいろな視点から客観的にものごとを見る力を養うことを目標とした。全校で行う摘雷、摘果、収穫作業に加え、柿畑の見学、柿の集出荷場見学をして、次郎柿について深く知り、柿農家への聞き取りをきっかけに柿名人の思いを追究した。さらに、自分たちで考えた柿料理をすることで、別の視点からも柿のよさに気づくようにした。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域の名産である次郎柿の木14本を借りて、各学年に育てる木を割り振って栽培に取り組んでいる。摘雷、摘果、収穫などの作業は学校行事として行っている。児童には難しい剪定などの作業は環境保全隊の方にお願いしている。作業をする前に、全校でのオリエンテーションを設定し、そこで、地域のJAの青年部の方に次郎柿の特質や作業の仕方について教えていただいている。作業中にも指導していただいている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

毎年教育活動の反省ので、ユネスコスクールとしての活動の評価を全職員で行っている。また、外部からの評価として学校評議員にも評価をしていただいている。校内の評価では、地域の自然とかかわる活動を教育活動の中に位置付けてきたことによって、地域に親しみ、愛着をもつ児童の姿が見られるようになったことが成果として挙げられた。自然とかかわる活動には多くの時間が必要であり、計画的に進めたり精選したりすることも視野に入れていかなければならない

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ホタル観察会、次郎柿栽培、吉祥山登山、コネタ集会などの活動の成果(活動の内容、児童の学びの様子)を、学校だよりを通して地域に発信したり、学校HPで紹介したりすることによって、保護者や地域の方に学校の活動を理解していただくことができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

次郎柿栽培では、地域のJAや環境保全隊に摘雷、摘果、収穫の仕方を指導していただいたり、児童には難しい剪定などの作業や世話をいただいたりしている。吉祥山登山では、環境保全隊の方に道案内をしていただいたり、吉祥山の自然環境についてのお話をいただいたりしている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

本年度、他のユネスコスクールとの交流は行っていないが、本校と同じように自然豊かな環境の中にある学校との情報交換ができれば、そこから学んだ新たな視点をもってESD活動に取り入れていきたい。また、逆に本校とは異なる環境の学校との交流を通して、児童の視野を広げたり、これからの生活に生かしたりできるような経験ができるようにしたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

地域の自然とかかわる「ホタル観察会」や「星空観望会」（本年度は天候不良のため中止）では、児童と保護者を対象として行っている。ホタルや星空について、講師から専門的な話を聞いた後で、実際に見る体験をするので、親子で改めて地域の自然のよさを見つめ直すことができ、地域を愛する気持ちが強くなっている。また、教員も参加し、学校以外の地域のよさを再発見し、地域の方と交流する場にもなっている。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

5月 自然にかかわる活動Ⅰ 【ホタル観察会】
・児童・保護者
地域の自然のすばらしさや守っていくことの大切さを学ぶ。

通年 自然にかかわる活動Ⅱ 【次郎柿栽培】
・全校…摘雷・摘果・収穫
・3年…総合的な学習「西郷の宝—次郎柿—」
地域で働く人の思いを知り、地域への愛着をもつ。

10月 自然にかかわる活動Ⅲ 【吉祥山登山】
・4年…総合的な学習「ふるさと西郷！自然探検」
地域の自然のすばらしさや地域と自然とのかかわりを学ぶ。

1月 国際理解にかかわる学習 【コネタ集会】
・全校
・6年…コネタの歴史発表
平和や友情の大切さに気づき、国際社会の一員としての自覚をもつ。
外国には多種多様な文化や生活があることを知り、それを尊重することの大切さを学ぶ。